



2010年3月期第3四半期 業績概要

2010年1月28日

アンリツ株式会社
社長 戸田 博道

東証第1部:6754
(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向
や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが
引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 当社の事業セグメントの呼称と事業内容
- サマリー
- 2010年3月期第3四半期の業績の概要
- 2010年3月期の通期見通し
- ビジネス拡大に向けた新製品

当社の事業セグメントの呼称と事業内容



セグメント	サブセグメント	事業内容	担当事業部門の主な所在国
計測器	NGNおよびインフラ関連分野	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、有線ネットワークおよび無線インフラ敷設・保守用テスト、サービスアシュアランスなど	日本・米国・デンマーク・イタリア
	携帯端末分野	携帯電話端末開発・製造・保守用テスト	日本・英国・米国
	汎用分野	無線設備、電子部品等の開発・製造用汎用テストなど	米国・日本・英国
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど	日本
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機など	日本、タイ
その他		精密計測、光デバイスなど	日本

サマリー(1)



第3四半期業績(連結)サマリー

(単位:億円)

	前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	614	555	△ 59	△ 10%
売上高	620	501	△ 119	△ 19%
営業利益	△ 5	19	24	-
経常利益	△ 15	10	25	-
税引前当期純利益	△ 32	13	45	-
当期純利益	△ 37	2	39	-
フリーキャッシュフロー	33	58	25	78%

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

サマリー(2)



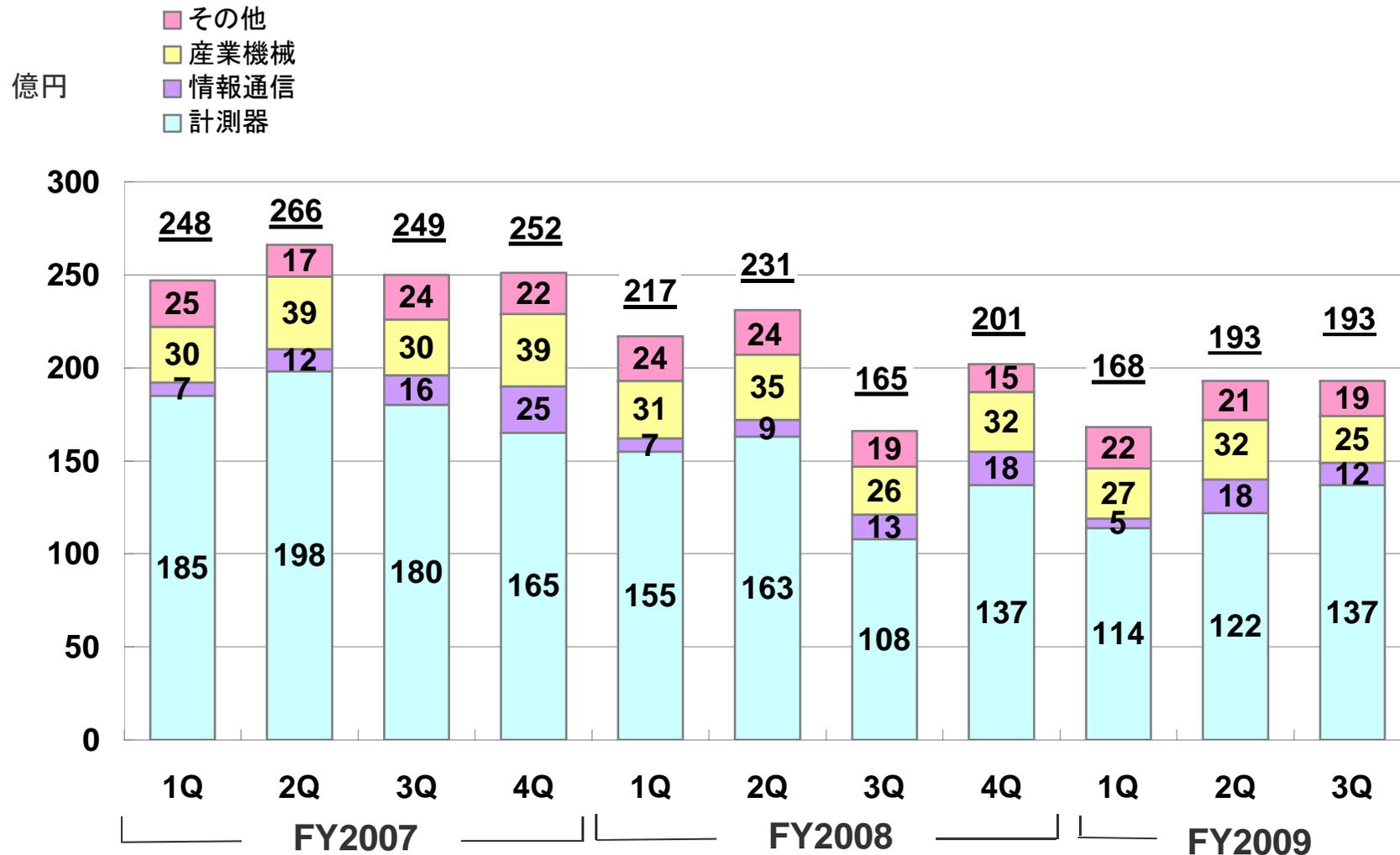
営業概況

日本の景気回復の遅れと、それに伴う顧客の設備投資抑制が継続

計測器	顧客の設備投資抑制により、厳しい事業環境が継続 LTE ^{注)} 開発用計測器の需要は想定通りに推移 中国3Gインフラの投資は継続、計測器への発注は若干ずれ込み サービスアシュアランス事業はラテンアメリカキャリアから受注獲得
情報通信	Q3までは計画通り
産業機械	アジアの設備投資が回復傾向、全体として計画通り
その他	光デバイスはブロードバンド化に伴い需要はあるものの価格は低下 精密計測は顧客の設備投資抑制により低調

注) LTE (Long Term Evolution) : 次世代携帯電話の通信規格。

事業別受注推移(連結)



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

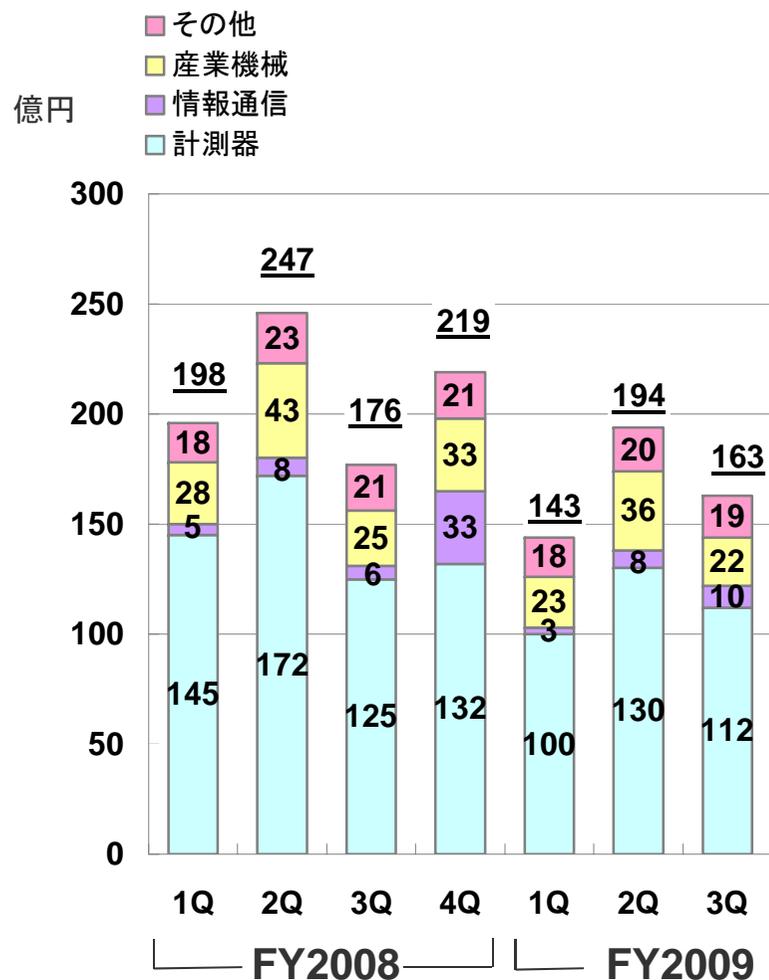
事業別売上高・営業利益(連結)

(単位:億円)

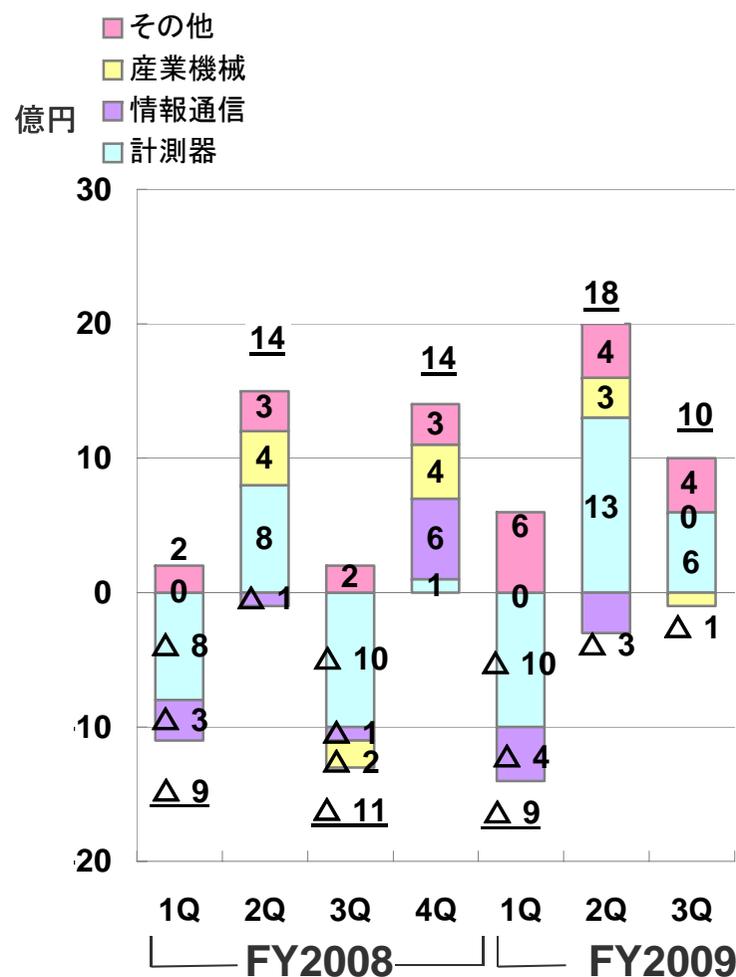
		前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
計測器	売上高	443	342	△ 101	△ 23%
	営業利益	△ 9	9	18	-
情報通信	売上高	19	21	2	9%
	営業利益	△ 6	△ 7	△ 1	-
産業機械	売上高	96	81	△ 15	△ 16%
	営業利益	2	3	1	60%
その他 (含:内部 消去)	売上高	62	57	△ 5	△ 9%
	営業利益	7	13	6	81%
合計	売上高	620	501	△ 119	△ 19%
	営業利益	△ 5	19	24	-

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・営業損益推移(連結)



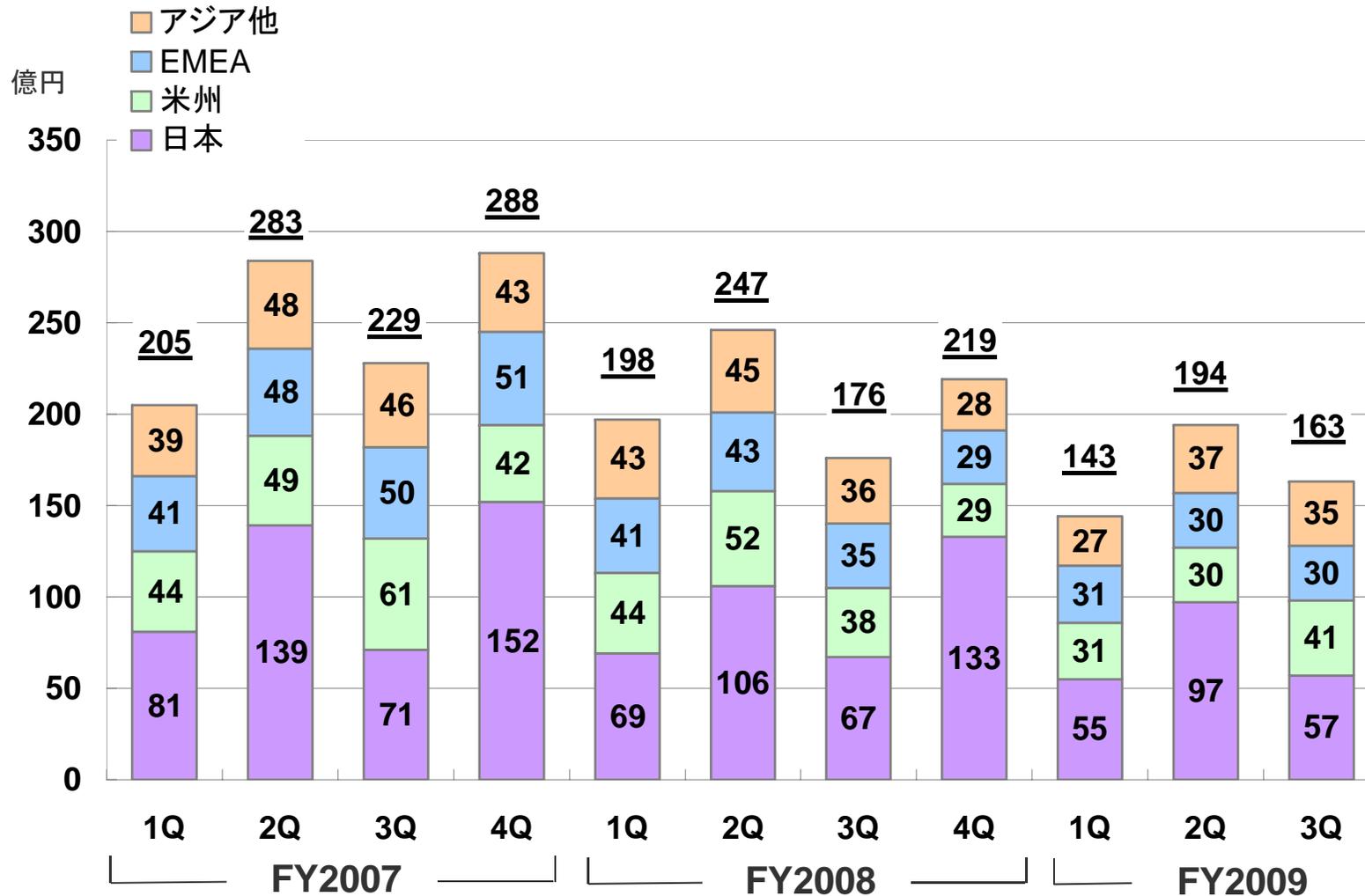
連結売上高



連結営業利益

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

地域別売上高推移(連結)



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

営業外・特別損益概要(連結)



(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結会計期間 (10-12月)実績
営業利益	△ 533	1,873	961
金融収支	△ 346	△ 363	△ 159
為替差損益	△ 686	△ 432	16
その他	25	△ 74	43
営業外損益計	△ 1,007	△ 869	△ 99
経常利益	△ 1,540	1,004	862
固定資産売却益	-	149	-
投資有価証券売却益	-	140	-
社債買入消却益	-	62	62
新株予約権戻入益	35	-	-
投資有価証券評価損	△ 52	△ 17	△ 10
たな卸資産評価損	△ 1,358	-	-
事業構造改善費用	△ 295	-	-
特別損益計	△ 1,670	334	52
税引前利益	△ 3,210	1,338	914

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

キャッシュフロー概要(連結)



第3四半期累計

- ①営業CF: 61億円
- ②投資CF: △2億円
- ③財務CF: 31億円

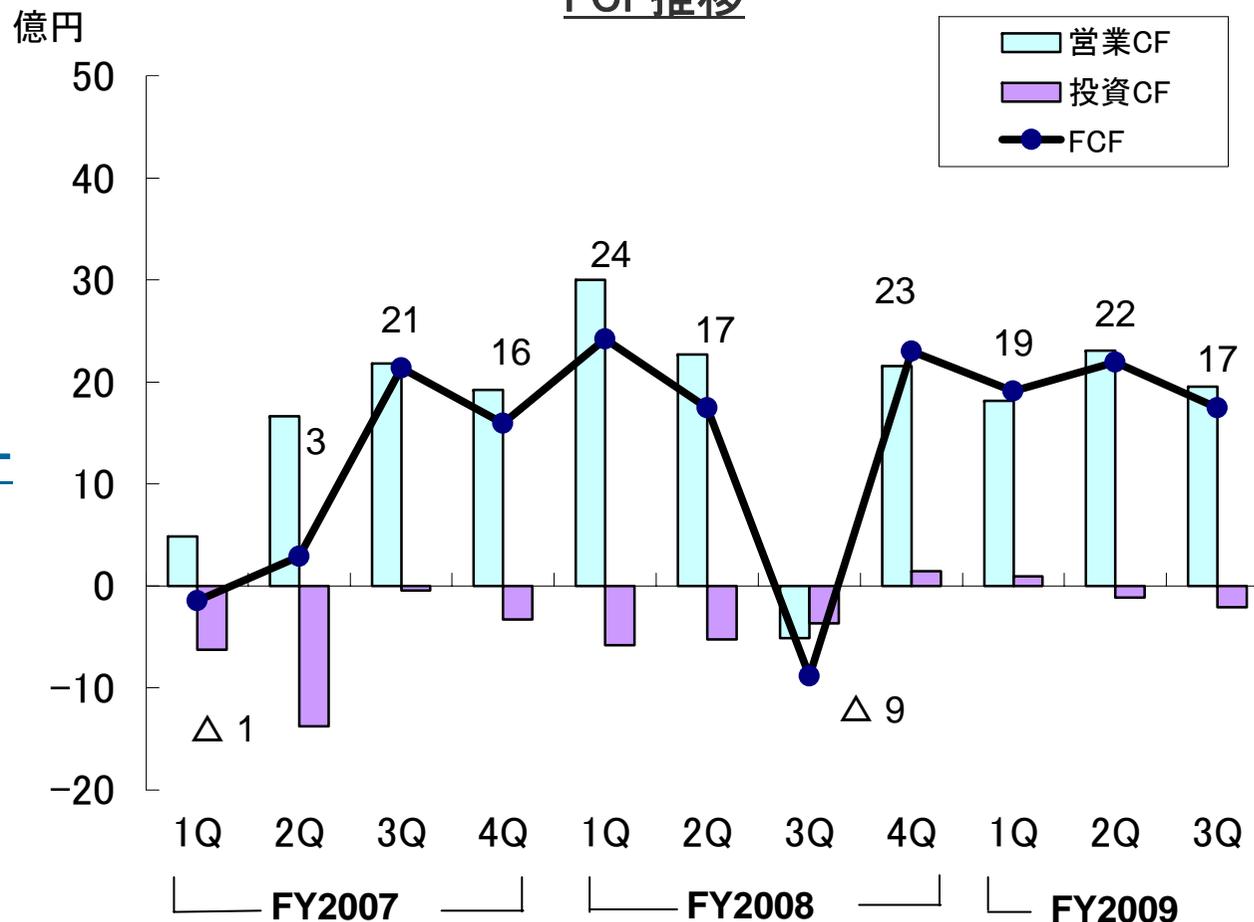
フリーキャッシュフロー

(①+②): 58億円

現金同等物期末残高

273億円

FCF推移



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

2010年3月期 通期の見通し(連結)

(単位：億円)

		2009/3期	2010/3期		
		通期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		839	730	△ 109	△ 13%
営業利益		9	30	21	231%
経常利益		2	15	13	779%
当期純利益		△ 35	5	40	-
計測器	売上高	574	485	△ 89	△ 16%
	営業利益	△ 8	13	21	-
情報通信	売上高	52	50	△ 2	△ 4%
	営業利益	1	0	△ 1	-
産業機械	売上高	130	120	△ 10	△ 8%
	営業利益	6	4	△ 2	△ 33%
その他	売上高	83	75	△ 8	△ 10%
	営業利益	10	13	3	26%

配当：無配予定

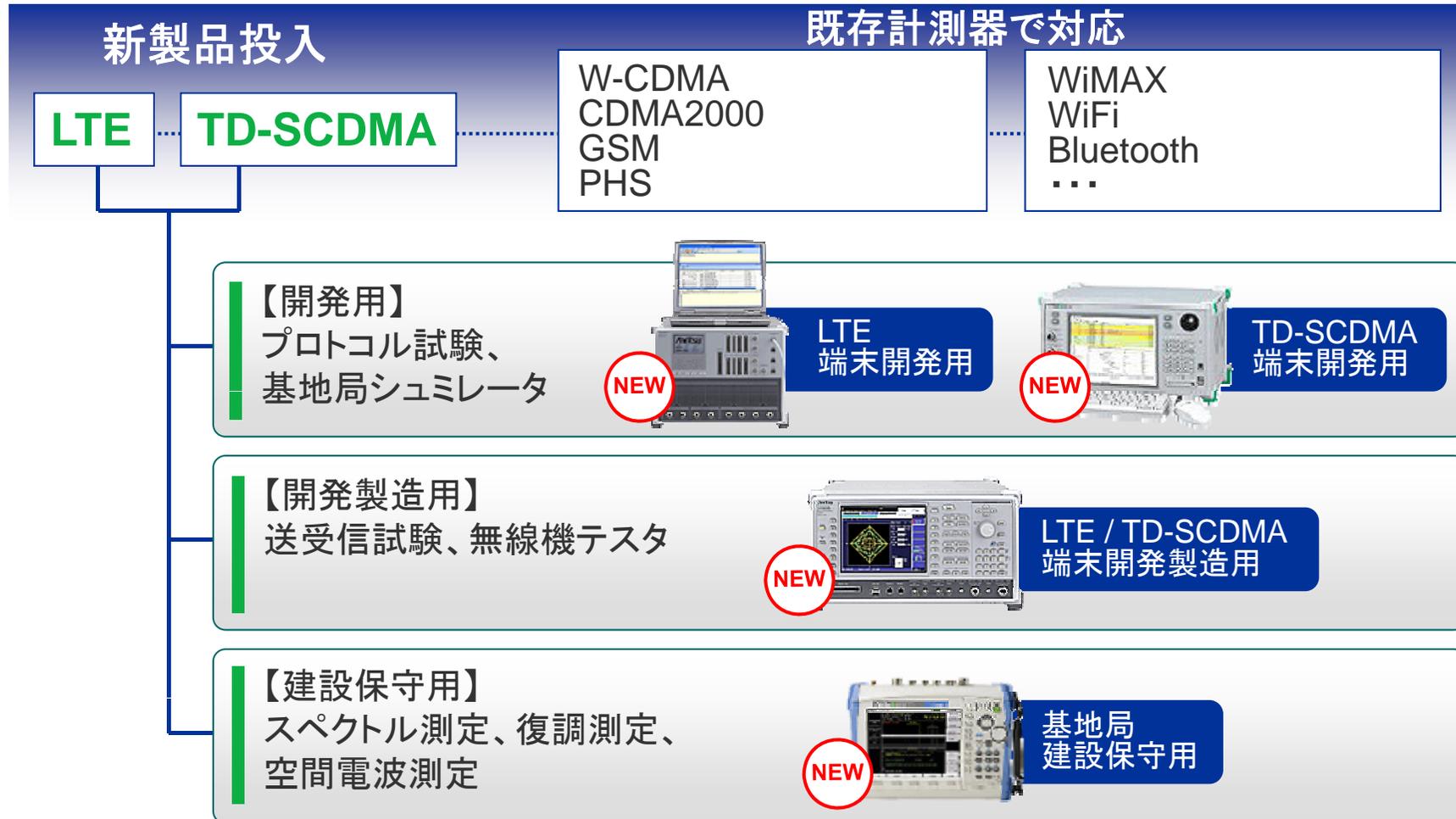
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) 想定為替レート：1米ドル=90円

ビジネス拡大に向けた新製品



新たな携帯規格に対応：LTE(3.9世代携帯)、TD-SCDMA(中国3G)



ビジネス拡大に向けた新製品



ブロードバンド化、高速化の普及・拡大に対応：基本測定～アプリ解析

■ 汎用計測

光回線/光海底ケーブル ... 光デバイスモジュール

【開発製造用】

光スペクトル測定、光信号品質解析、
アイパターン測定

NEW



開発製造用

NEW



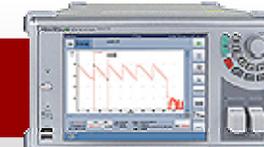
【建設保守用】

光伝送基本測定、
障害解析

NEW



光通信回線
建設保守用



今後も、無線通信/デジタル家電/カーエレ/地デジなどに対応した汎用計測を順次市場投入

ビジネス拡大に向けた新製品



安全・安心で高品質を目指す食品・薬品市場に対応：重量測定～異物検出

■ 検査装置

重量測定

金属・異物検出

【製造検査用】
高感度・高速測定
(製品～半製品・材料:被測定物拡張)

NEW



製造・検査用

NEW



【製造検査用】
高精度計量

NEW



製造・検査用

Anritsu

Discover What's Possible™